

「札幌遠友夜学校のあゆみ」

2018年6月1日

「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」原田昭子

新渡戸稲造や札幌遠友夜学校についての書物や資料は、伝記や研究書など多数あります。札幌の一市民である私は、義父が遠友夜学校教師だったことで「考える会」に入会。

この資料は、会員として活動が続けるなか、次第に「ささやかでも最善を尽くすべき」との強い思いが生まれ、私なりの視点から史実と資料を時系列にまとめ、記念館建設への願いを込めたものです。

目次

1862 (文久 2) ~1891 (明治 24) 年-----	P1
新渡戸稲造略歴 (札幌遠友夜学校設立以前)	
宮部金吾への手紙「ぼくの構想」	
1890 (明治 23) ~1895 (明治 28) 年-----	P2~3
札幌遠友夜学校設立の経緯	
新渡戸稲造講演「学校の始め」	
生徒募集のビラ	
1896 (明治 29) ~1911 (明治 44) 年-----	P4~6
有島武郎農学校予科入学 新渡戸稲造校長の離札	
生徒の回想「一人前の働き手」「いつのまにか揃っていた教科書」	
生徒の回想「校歌と有島先生の教え」	
生徒の回想「人生の最も大きな誇り」	
新渡戸稲造、初の日米交換教授『日本国民』講義	
1913 (大正 2) ~1926 (大正 13) 年-----	P6~8
有島武郎の離札と手紙	
教師の回想「琴線の触れ合い」	
有島武郎の最期と再評価	
1924 (大正 13) ~1933 (昭和 8) 年-----	P8~10
生徒の回想「おはぎ 250 個」	
新渡戸稲造、母校での講演「人生の目的」	
聴講学生の回想「人生のかがり火」	
新渡戸稲造、夜学校での講演「学問とは」	
生徒の回想「日本一美しい手」	
新渡戸稲造、カナダにて客死	
1934 (昭和 9) ~1944 (昭和 19) 年-----	P10~11
生徒の回想「親元を離れて働く 7,8 歳の子」	
創立 50 周年記念式一元校友生の言葉「遠友のおかげ」	
遠友夜学校の閉校	
夜学校最後の庶務日誌「ここでくい止めたものは何か」	
1954 (昭和 29) ~2014 (平成 26) 年-----	P11~12
さっぽろ文庫 18『遠友夜学校』編集長のあとがき「札幌の良質の精神」	
札幌遠友夜学校創立百年記念講演会	
新渡戸稲造の孫、加藤武子さんの講演「祖父」	
2012 (平成 24) ~2018 (平成 30) 年-----	P12~13
「一般社団法人新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」設立から現在までの主な活動	

新渡戸稲造略歴（遠友夜学校設立以前）

- ・新渡戸稲造は1862（文久2）年、盛岡藩士新渡戸十次郎の7人兄妹の3男として出生。5歳で父を亡くす。新渡戸家は父祖伝来盛岡藩南部氏家臣で、学問にも優れていたが、藩史に異彩を放った反骨精神と、開墾開拓事業の実践者だった。
- ・幼少期、初歩的な英語を習う。
- ・明治4年10歳上京。東京で洋服商を営む叔父太田時敏の養子となり太田姓を名のる。養父の「大望をもって勉学せよ」の意向で藩学共懐義塾に入学する。この義塾は教科書が全て英語だった。
- ・明治8年14歳、東京英語学校（一高の前身）に入学。この頃から英文学読書の影響でキリスト教に惹かれる。
- ・明治10年16歳、札幌農学校2期生として入学。共に入学した宮部金吾（植物学者、植物園創設）、内村鑑三（近代思想史に大きな足跡。非戦平和論）とは、東京英語学校で出会い生涯の親友となる。他に広井勇（土木工学）、町村金弥（アメリカ式農場経営）等がいた。1期生には同郷の佐藤昌介（北海道帝国大学初代総長）、大島正健（教育者、教え子に宰相石橋湛山）、伊藤一隆（水産）、黒岩四方之進（畜産、作家黒岩涙香の兄）等。その後も日本近代化に貢献する人物を農学校は養成していた。
- ・明治14年20歳、農学校は徹底した官費制度であった為、奉職義務が課せられており、稲造は北海道開拓使御用掛として勸業課に出仕。
- ・明治16年に開拓使を辞め上京。東大の門を叩く。「私は太平洋の架け橋になりたいのです」は、東大面接の際の言葉。以来この言葉を生涯の指標とする。東大を1年余りで退学。
- ・明治17年23歳、私費でアメリカ留学を決行。佐藤昌介が学ぶジョンズ・ホプキンス大学へ入学。
- ・明治20年26歳、佐藤昌介の計らいで札幌農学校助教を命じられ、ドイツへ転じ、公費でボン大学、ベルリン大学、ハレ大学で農学を学ぶ。
- ・明治22年28歳、故郷盛岡の長兄が病没。次兄も既に病没していた為、太田稲造は新渡戸姓に戻る。
- ・明治24年30歳、1月アメリカフィラデルフィアのミス・メリー・エルキントン（日本名萬里子）と結婚。2月帰国。札幌農学校教授となる。

※農学校2期生同期の親友宮部金吾への手紙

アメリカのジョンズ・ホプキンス大学（1885年M18）時代

「親愛なるカボ君（カボチャ頭からくるという、新渡戸がつけたあだ名）、…札幌市民学園に対するぼくの構想は、三種類の生徒を収容することで、(1) 老人あるいは成人を対象とし、講義は日本語をもって、歴史、経済学、農学および自然科学とする。(2) 専門学校や大学の入学準備を希望するが、予備校に正規に出席できない青少年に対するもの(3) 貧しい両親をもった粗野な子どもたちや、労働者の少年など、出面の子弟に対する夜学校で、これらには日本語の初歩と、なんとかして英語を少々、そして、算数（求積法、測量術等）を教える。もしこれらの学級に女子部を併設するならば、刺繍、裁縫、編物、英語、および国文学の勉強ができるようにする…」

ドイツのボン大学（1887年M20）時代

「札幌に対する今日の僕の持っている歓心の夢は、貧しい人々や官吏の為に夜学校を設立することである。又読書室を有する出版所及び若し必要なれば女学校も設立したい」

※青少年に対する学校は、帰国早々、開拓使判官等を経て北海道炭礦会社社長 堀 基が設立した私立「北鳴中学校」の教頭に要請され就任。のち、公立中学が出来て北鳴中学校は閉鎖した。

※女学校は、アメリカ人宣教師サラ・C・スミスが1887年（M20）にスミス女学校として創立したところ、新渡戸の家が隣にあったので、度々授業等で協力していた。その関係で「北星女学校」という校名も新渡戸の発案だったらしいと伝えられている。

札幌遠友夜学校への設立経緯

1890 (M23) 新渡戸 29歳	新渡戸がまだ留学中だったこの年の5月、札幌独立教会信者の有志が、豊平橋付近で豊平日曜学校を始めていた。当初は中央区南3条東4丁目で始めていたが、100名余りになって狭くなり南4条東3丁目に移転した。貧しい身なりの子どもや、赤ん坊の弟妹をおぶった子どもたちが集まっていた。
1891 (M24) 30歳	留学を終えて2月に帰国した新渡戸夫妻は、5月に豊平日曜学校を見学して資金援助を始めた。萬里子夫人はその模様を実家の母親宛ての手紙に書いた。萬里子夫人も子どもの福祉に関心があった。
1892 (M25) 31歳	1月19日、夫妻に息子「遠益（トーマス）」が誕生するが、8日目に夭折する。 4月、新渡戸は萬里子夫人の弟ジョセフ宛てに、「萬里子は貧しい子弟のための学校開設を望んでいる。自分はYMCA（キリスト教青年会）に相談するが反応がない」と書く。 6月、萬里子夫人は「遠益（トーマス）」の夭折による傷心で健康を害し、新渡戸に付き添われアメリカの実家へ療養に行く。新渡戸は10月に帰国する船中で、萬里子夫人の父親宛の手紙に、天に召された息子への思いに苦しんだけれど心は打ち開かれてきた、子どもというもの美しいとか可愛らしいという、より以上のものになったと書く。そして、予てからの望みである昼間働く子どもたちのための夜学校開設への思いを強めてゆく。
1894 (M27) 33歳	閉鎖になった豊平日曜学校の場所（南4条東3丁目）で、1月、新渡戸は夜学校を開設する。このときアメリカ滞在中だった萬里子夫人は、4月に帰国する。新渡戸は萬里子夫人を迎えに上京。11月、萬里子夫人の弟ジョセフ宛てに、「（豊平日曜学校の場所で）夜学校を始めました。実は、私たちは…資金不足です」と書く。
1895 (M28) 34歳	アメリカと新渡戸との往復書簡から、アメリカの実家に仕えていた孤児の女性の遺言により、萬里子夫人の元に千ドルのお金が届いたのは、この頃だと推察される。 3月、弟ジョセフ宛てに、「何人かから資金をいただいて、家付き土地が買えそうです」と書く。7月、「学校（日曜学校）の向かい側の家付き土地（521坪）を購入しました」と書く。場所は南4条東4丁目（現新渡戸稲造記念公園）で、ここの石杭に創立記念日はM28年6月18日とある。

新渡戸稲造、のちの講演（昭和6年5月、最後の札幌遠友夜学校訪問の際）

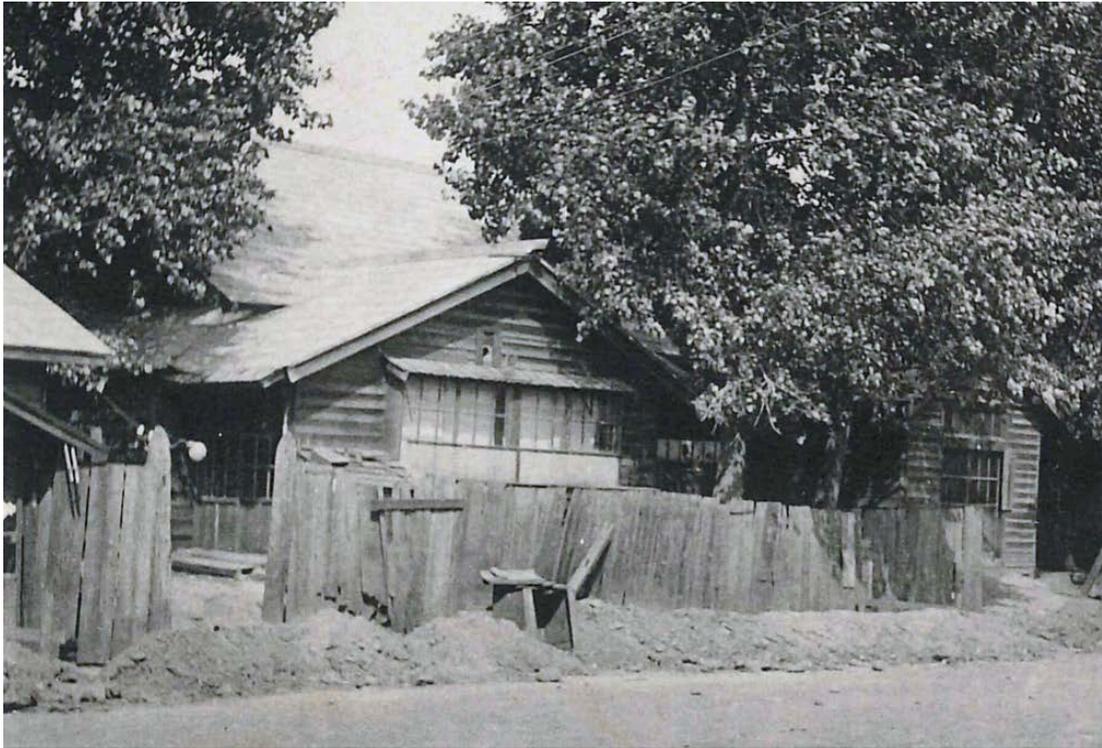
…学校の始めは40年ほど前、私が外国から北海道に帰り、米国で貰った家内を連れて来た。

私の家内の父が世話好きでいろんな人を世話し、或いは家に泊めおき、或いは都合して困っておる人を助けるのが道楽であった。ある時、みなし児で孤児院にいたのを引き受けて養っていた。年は14,5歳で女中よりも良く取り扱い教育した。父も母も家も無いその子を、養女のようにしていた。年をとっても嫁がずに家に残り、家事を手伝い、60余歳まで長らえていたが遂に亡くなった。遺言に小遣いを貯めた幾何（2千円と記憶するが）家内にやってくれと書いてあった。

そのお金が札幌に来た。家内はその有り難い涙の籠ったお金、頼りない（拠り所のない）孤児の貯めたお金をむざむざとは使われぬ。何か世の不幸な気の毒な人の為に使う道はないかと云うのであった。そこで私は「それはよい。丁度考えている事があって金が無くて出来なかったが、豊平の橋の近所に小さな家があり地面があって、そこには日曜学校を開いている星という人がいる。あの土地と家を買って、日曜のみならず毎日夜学校を開いては如何か」と云うと家内は「それはよからう。そう云うように此のお金を使えば、今のみなし児も定めし喜ぶでしょう」と云った。

…遠友夜学校の名づけ由来は、元をただせば米国のような遠くから送って来た金、且つ、家内の発意にもより、又「朋あり遠方より来たる。また楽しからずや」（孔子の論語）とあるから、両方をとって遠友夜学校とした。…私が校長というものの、校主ともいふべきは私の家内である。

※M29年1月10日の日記には、M25年1月19日に生まれて8日目に夭折した息子「遠益（トーマス）」の一字を用いたい旨を夫婦で決めたと、新渡戸は記している。



土地付き民家を購入（521 坪）（原田蔵）

最初は付近の子どもを集めて、週 2 回暗いランプの下で破れ畳に座って、希望する学科を教える寺小屋方式で始めた。新渡戸校長は教え子の札幌農学校生徒と札幌独立教会信者の支援を得て、共に教え、経営に当たった。

この時代、小学校に国庫の援助はなく、経費は区町村の賄うところで、授業料も高かった。一般市民の生活水準は低く、児童の不就学者が多かった。

生徒募集のビラ…本校の特色

- ・ 世界で一つの学校。これ程どんな人でも入れる学校はありません。
- ・ 社会事業団体として諸君の勉強に最大の誠意と関心を持っています。
- ・ 勉強は夜 6 時半から 9 時 15 分まで。
- ・ 働きながら勉強できます。
- ・ 幾年をとっていても差支えありません。
- ・ 6 年を終えていない人でも 13 歳以上では小学校へ行けませんし、小学校を卒業しても分からなかった處をもっと勉強したい人は初等部へ来て下さい。
- ・ 男でも女でも構いません。
- ・ 何時でも入れます。（初等部だけ）
- ・ 月謝は要りません。
- ・ 学用品はあげます。（初等部だけ）
- ・ 先生は諸君の友達です。
- ・ 中等部の方は中等学校の勉強をします。中学校等へ行けない人の為に設けてあります。

1896 (M29)	有島武郎が19歳で学習院予科を卒業し、札幌農学校予科へ編入。新渡戸家へ寄寓する。有島の母方は南部藩士の系譜で、稲造の養父太田時敏が同郷のよしみで有島の両親の媒酌をした。その縁で有島は新渡戸家へ寄寓したのである。弱い者、貧しい者に援助の手を惜しまない新渡戸のヒューマニズムは、有島の精神に深く影響したといわれている。
1898 (M31) ----- 新渡戸 37歳	<p>児童生徒が増え、手狭になったところ、有志の市民（喜多島慶次郎）が敷地内に24坪の校舎を建てて寄贈。多数の生徒を収容できることになった。尋常、高等の2科に分け、毎晩2時間の授業、土曜日午後から女生徒に編み物を教えた。</p> <p>10月新渡戸は病氣療養のため、農学校教授を辞職し離札する。一人息子遠益（トーマス）の夭折による失意、傷心の夫人のアメリカ養生、多忙による長年の疲労蓄積などで神経症を発し、群馬県伊香保温泉で療養することになった。遠友夜学校校長のまま代表者を親友宮部金吾に託した。以後、新渡戸は夜学校の経営から離れたが、萬里子夫人共々夜学校のことを常に気にかけて、援助の手を惜しまなかった。新渡戸が離札した後は、遠友夜学会が設けられ、維持費は会員の拠出金によって経営された。会員は100人に近く、札幌在住の篤志家を主とし、夜学校に関係した北大卒業者も加わった。遠く海外からも欠かさず送金する人もいた。</p> <p>尋常科は修身、読書、作文、習字、算術、唱歌。高等科は地理、歴史、理科を加えた。</p> <p>M32年、遠友夜学校第1回卒業生が送り出された。宮部金吾はM30年～37年まで代表を務め、その後M38年～41年まで、新渡戸の教え子で農学校11期生の大島金太郎（農学者）が代表を務めた。教師には夜学校最後の校長を勤める半澤洵（細菌学・納豆菌発見）がいた。半澤洵はS15年6月発行の学期報「遠友」で、私が夜学校の教師になったのは本科の1年（M30年頃）からだと思うが、或いはその前からであったか…、と綴っている。</p> <p>男子生徒の回想 「当時、私の付近の子どもは小学校を途中でやめて働きに出る者が多かった。10歳ほどになれば家では一人前の働き手としてあてにされたのだ。たった1日、ビール会社の製瓶所に勤めた後、札幌駅近くの活字製造所で働きはじめた。…私が遠友夜学校に入学したのは…やはり大人にまじっての毎日の仕事の辛さから夜学校に救いを求めたのではなかっただろうか。朝、昼食と夕食を持って工場へ行き、仕事が終わると走るように学校へ行き、そこで夕食を食べて授業を待ったものだった。…生徒は10歳から30歳くらいまで。先生より年長の生徒もいたが、みな神妙に小学校の教科書を学んでいた。」</p> <p>「夜学校に入った僕は驚きと嬉しさで一杯だった。兄さんのような先生にお父さんのような下級生。あのなごやかな雰囲気は誰をも引き付けないでおかなかった…校門が近くなると歩くのがもどかしく駆け出してしまいう夜学校だった。」</p> <p>女子生徒の回想 「薄暗い校舎ではありましたが、教室の中はいつも張り切った学生服の先生と、向学心に燃えた生徒が一体となって学ぶその雰囲気は、本当に明るく楽しいものでした。」</p> <p>「先生方はご自分の勉強の時間を割いてのご奉仕ですけれど、奉仕とか、貧しい者への憐みとか、そんな感じは全くありませんでした。何か先生も生徒も灯ともしごろになると、希望に胸をふくらませて馳せ参ずるという感じがするのです。」</p> <p>「入学した日は12月28日の奨励会の日でした。奨励会というのは卒業式でもあり、入学式でもあったのですが、その日に母に連れられて入学したわけです。そのころはまだノートがなくて石盤を使って勉強しました。使った本は普通の小学校と同じ国定教科書でしたが、その本を私たちは買ったことがありません。先生方がどこから集めてきてくださるのか、ちゃんと揃っていました。」</p>

新渡戸は伊香保温泉療養中に『農業本論』を出版。その後アメリカの太平洋岸カルフォルニアへ転地して、健康の完全回復につとめた。M33年（39歳）、英文の著書『武士道』がニューヨーク、フィラデルフィアとイタリアで出版。評判を得る。農学博士取得。M34年（40歳）、心身の健康を回復したころ、児玉源太郎、後藤新平の要請を受けての台湾総督府赴任。糖業改良意見書で、台湾の経済に貢献。

新渡戸稲造全集17巻『日本国民』第9章より。「日本は、植民成功の秘訣を、慈悲で味付けした正義である、ということを知らねばならぬ。…イギリス人の詩「廃村」…立派な国と幸福な国との間の境界は、なんと巾が広いことだろう…」を引用。

その後京大法学部教授、第一高等学校校長、東大法科教授を歴任する。法学博士取得。

<p>1909 (M42)</p> <p>----- 新渡戸 48歳</p>	<p>有島は新渡戸離札後も遠友夜学校の教師を務め、アメリカ留学、ヨーロッパ外遊を経て帰国し、東北帝国大学農科大学（M40 札幌農学校から改称）予科教授となって、M42年1月遠友夜学校代表となった。既に（M31年頃）夜学校校歌と奨励歌を作詞し、1914年（T3）の予科教授時代には、不幸な境遇の夜学校女生徒をモデルに小説「お末の死」を、同人誌「白樺」に発表している。</p> <p>6月、新渡戸夫妻が来札し、遠友夜学校に600円を寄付した。</p>
	<p>新渡戸の来札を機に夜学校校舎の増改築へと進む。尋常科1・2年、3・4年、5・6年、高等科の4教室を設け、1学級に2人の担任となり、教師控室1と留守居室2を設けた。総坪数は74坪。生徒数約120名を収容できることになった。</p>
<p>1910 (M43)</p>	<p>新校舎が竣工。M31年頃の有島武郎の作詞「遠友夜学校校歌」が正式採用される。</p> <p> 極みなれ 是こそ アーは 恥じざ 天にも 家に住 ゆがみ 衣をさ つづれ そしら 八 極みな 是こそ アーは 真心の 行くべ 一すじ 慾をば 身を捧 正義と 五 なほあ 楽しき オー否 黄金を 北斗を 何なる 楽しき 樂しみの 沢なす 一 </p> <p>校歌の八番が好きだったという女子生徒の回想</p> <p>有島先生は手を取って、私に習字を教えてくださいながら、人間はどんなボロを着たっていいんだ、立派な家に住んだからと云って立派なのではないんだ、本当にこういう精神を持って、真心のままに、生きるということが大切なんだと教えてくださいましたね。…今になってみれば、夜学校のあの尊い先生方が本当の人間として生きていく上での真髓を教えてくださいましたと思っております。どなたもあの若さですよ。…（雪の中）先生方も（遠い）北大のほうから歩いて、下駄がけで。今一番胸にしみているのは、有島先生が高下駄で…。私たちが先生の持っているもの（雪が付いた高下駄）を片付けてあげることも知らないでね。（思い出すと）あー申し訳ないなと思ってね。…</p> <p>男子生徒の回想</p> <p>「沢なすこの世の楽しみの………」と歌いながら、オー否 否と否定して2節3節と移ってゆく。それに従って私は何か胸にこみ上げてきて、涙声になって咽喉がかすれてゆくのですが、更に進んで「正義と善とに身を捧げ…行くべき路を勇ましく、真心のままに進みなば」と歌うにおよんで、気も晴々と元気付けられるのです。あの校歌の精神が私どもの心の中にすっかり刻み付けられ、強く正しく生き抜く信念を堅持しえたことと思います。私が遠友夜学校で学びえたことは、私の人生の最も大きな誇りであると信じます。</p>
<p>1911 (M44)</p>	<p>有島は経営に情熱を傾け、有能な手腕を発揮した。道庁から補助金、内務省より奨励金が交付され、夜学校は優秀な社会事業施設として認められていった。</p> <p>倫理講話の情操教育・遠足会・海水浴・職員との茶話会。女子部の「堇（すみれ）会」の修養講話。又、袋貼り・雑巾作り・花緒づくりの勤労奉仕をして夜学校維持の資金積立てとした。高等部女子部「羊会」の「文の園」会誌の発行。男子高等科の「リンコン会」の演説会・討論会。生徒は自発的に大掃除、冬季の校舎の雪降ろし等をしたたりして、自分たちの学校という意識が強くなっていった。</p> <p>有島代表はポケットマネーで生徒への奨励金を出したり、学生教師をねぎらったりした。</p> <p>夜学校最後の校長半澤洵の「遠友夜学校の功労者」の文章には、有島が校舎の増改築の時に多額の自費を投じ、学校維持のための寄付金も普通の遠友会員よりもいつも多いお金を出していたこと、「この貧民夜学校の土台を築いたものは有島君だといっても過言ではない」と高く評価していた。翌年 M45 年、校舎に電灯が設置された。</p>

<p>1911 (M44) 新渡戸 50 歳</p>	<p>新渡戸は一高校長のまま、初の日米交換教授としてアメリカへ派遣される。日露戦争後、アメリカの反日問題は顕著になってはいなかったが、カルフォルニアの日本移民問題が深刻化してくる頃だった。アメリカ側の日本の国情に対する無知と戦い、啓発することで、文化使節としての使命が新渡戸に課せられた。新渡戸がかつて、東大入学の面接の際に発言した「太平洋の架け橋になりたいのです」の念願成就だった。</p> <p>新渡戸は日本の地理、歴史、宗教、教育、経済等の日本の姿を伝えるべく、ブラウン、ジョンズ・ポプキンズ、スタンフォードなど6つの大学で166回の講演を行った。</p> <p>会場に聴衆が溢れるほどの好評を得たが、新渡戸には米国民との個人的な接触も収穫だった。洒落で流麗な語学力、座を和ませるユーモア、豊富な知識、暖かい心情が相手の日本観を改めさせたと云われている。</p>
<p>「民族と国民性について」 『日本国民』(『新渡戸稲造全集』第17巻第4章)</p> <p>「…日本古代の文化が、中国や朝鮮よりの帰化人によるところが大きい…そして日本人を作るのに貢献しなかった民族はまずありません…真似ることは学ぶことである。それは学ぶことは主として真似ることにある。それが猿真似に終わるかどうかは、手本の賢明な選択で決まる。模倣は適正、または有用性という標準を使って、根気強く行われた自発的調整である。…我々は適用性に富むから、東洋も西洋も理解できるし、西洋にも東洋にも共感を覚えることが出来ると信じる。我々は情緒的・伝統的には東洋に結びついているが、知能と確信では西洋に属する。時折り排外感情を耳にしはするが、それらの感情は模倣反対の一面面にすぎず、これは社会変革にいつもつきものである。…感情の共同が、東洋、西洋の間で一般的となりうるには、それに先立って、知的指導者が、共に兄弟であることを認めねばならぬ…」</p> <p>これらの講義は英文で出版。のち邦訳され、『新渡戸稲造全集』第17巻に収録。新渡戸はM45年日米交換教授の役割を果たして帰国。一高校長を辞職。東大法科大学専任教授となる。</p>	
<p>1913 (T2)</p>	<p>市役所より補助金が交付される。</p> <p>高等科を卒業したものの中には、札幌中学校(のちの札幌一中)を経て農科大学に合格した人、高等師範学校卒や庁立女学校卒で小学教師になった人もいた。実業に従事した人、また商店、会社、官庁などに勤務した人も多かった。</p>
<p>1914 (T3)</p>	<p>有島の農学校同期生の親友足助素一(のち出版社叢文閣を創立)が、経営していた貸本店「独立社」を夜学校に寄付。暫く夜学校で経営していたが売却、夜学校の基本金に充てた。</p> <p>11月有島は一家で、妻安子の胸部疾患治療のため東京に移った。</p> <p>有島の同期生で熱心な夜学校教師であった蠣崎知二郎(北海道庁技師、のち空知農学校校長)に、夜学校代表を託した。</p>
<p>1915 (T4)</p>	<p>3月有島は単身で来札し、農科大学教授、夜学校代表を正式に辞して離札する。</p> <p>生徒104人が駅のプラットホームに整列して、有島作の校歌を歌った。</p> <p>有島武郎が車中で書いた親友足助素一への手紙</p> <p>随分長く札幌に滞在したが同地の始末は綺麗につけた。汽車に乗って学生と夜学校の生徒に見送られながら其地を去る時には、何となく札幌はいい所だどつくづく思われた。</p> <p>有島武郎の夜学校教師への手紙</p> <p>諸君の若い生命の力を信じ、何事と雖もなし能わざるなきことを信ぜよ。諸君の靈魂の努力と理想の実現に於いて力になりたいものが少なくとも1人あることを信じて貰いたい。</p> <p>10年近い夜学校への献身的な拘わりを終えた有島は、離札後も新渡戸と同じように遠友夜学校のことを気かけ、教師や生徒に贈り物をしたり、財政的援助を惜しまなかった。</p>
<p>1916 (T5)</p>	<p>道庁より私立学校の認可がされる。</p> <p>高校科を本科、尋常科を予科と改称する。</p>
<p>1918 (T7) 年 57 歳、新渡戸は東京女子大学初代学長となる。</p>	
<p>1919 (T8)</p>	<p>卒業生有志により「夜学校校友会」が結成された。</p> <p>夜学校代表が野中時雄(農科大学11期、のちの兵庫大学教授)となる。</p>

T8年 58歳、第一次世界大戦（ヨーロッパが主戦場）後の世界情勢を視察するため、新渡戸は後藤新平と共に欧米視察に出る。この視察中、創立当初の国際連盟事務局次長に内定。国際的視野を持ち、人格、識見にすぐれ、堪能な語学力の新渡戸に白羽の矢がたてられた。初代事務総長はイギリスのドラモンド卿が務め、当初はイギリスロンドンに事務所が置かれていたので、新渡戸夫妻はロンドンに残る。T9年 59歳、正式に国際連盟事務局次長となり、スイスのジュネーブに移る。当初、この国際連盟にはアメリカ、ロシアは不参加だった。

T9年の12月、米国カリフォルニア州が、排日移民法案を可決した。またさらに、T13年には日本人の入国を禁止するという「排日移民法案」がアメリカの上院、下院を通過した。

札幌農学校でアメリカ人の教育を受け、渡米して留学し、アメリカ人の妻を迎え、「太平洋のかけ橋」として第1回日米交換教授になり、日米の相互理解に務めた新渡戸には衝撃なことだった。

T9年（58歳）～T15年（65歳）までのジュネーブ時代は、その生涯で最も世界的な舞台上で活躍する7年間を送るが、排日問題でアメリカに失望した新渡戸は、帰国行路は便利なアメリカ経由を止めて、欧州航路にしたほどだったという。

1920 (T9)	小谷武治（農学校 15 期生、北海道帝国大学予科教授）夜学校代表となる。
1921 (T10)	半澤洵（農学校 19 期生、北海道帝国大学農学部教授〈細菌学・納豆菌発見〉）が夜学校代表となる。半澤代表は有島武郎、蠣崎知二郎と同期で、夜学校教師には殆ど最初から参加していた。新渡戸離札後に出来た「遠友夜学会」は、広く寄付金を募り、さらに手狭になってきた校舎の増改築を行う。12 坪×3 教室、9 坪×4 教室、6 坪×2 教室、4 坪×1 教室、当直室、小使部屋、物置、計 116 坪になり、生徒数 250 名を収容できることになった。
1922 (T11)	皇太子（昭和天皇）が来道し、夜学校に 200 円の下賜金。以後、宮内庁の下賜金が始まる。
1923 (T12)	<p>8月、道庁より財団法人の認可を受ける。理事、評議員組織になる。「遠友夜学校報」を発刊。理事に新渡戸稲造、宮部金吾、半澤洵、三島常盤の4名。三島常盤は札幌写真界の草分的存在であり、新渡戸とはキリスト教で夜学校設立当初の頃から知り合い、有志として熱心な協力者となり、理事会の会計を担当した。</p> <p>夜学校教師の回想</p> <p>たとえ、それはお前の若き日の感傷に過ぎぬと言われようとも、敢えて言いたい。それは教師と生徒とが一体に融け合って燃え、白熱の輝きを放った短い日々であったと。そしてその融け合いの中で、今思うと、教えたよりも生徒に教えられたのである。大学生であった教師らには、畢竟（ひっきょう）、農学や医学のライセンスが約束されていた。しかし生徒らは学んでも何の資格も得られない夜学校へ、昼間の労働に疲れた体にむちうって来た。そして、年若く世間知らずの学生のとリエである一途の純粋さに、共鳴し琴線を触れ合ってくれた。果たして教師は我々であったといえるであろうか…。</p>
	<p>T4年 37歳で離札した有島武郎は、翌年 T5年妻安子と父武を亡くした。本格的な作家生活に入り、『カインの末裔』『或る女』『生れ出づる悩み』『小さき者へ』『惜しみなく愛は奪う』など発表し、日本を代表する人気作家になる。</p> <p>T11年、所有していた北海道狩太農場（現ニセコ町）を小作人に共同管理の方法で無償解放。</p> <p>その後、造田灌漑溝工事費の補助金に伴い裁判沙汰が起きる。有島研究者の1人は、…無償・土地共有の農場解放は歴史的、時代的に数歩先んじた異例なものであった為に、体制側はそれを「異端」と受止めた…農場管理人が工事費水増ししたとの投書を契機に、検察側が摘発したものだ。有島は理想の挫折を深く感じただろう…と綴っている。</p> <p>T12年6月8日、45歳の有島は3人の遺児宛てに「三児よ父は出来るだけの力で戦ってきたよ」の遺書を残して、婦人公論記者波多野秋子と軽井沢の別荘で心中する。死を選んだ理由については、他にも有島研究者の推察がある。</p> <p>人道主義の高名な作家、有島の名は教科書から削除され、札幌時計台の演武場で糾弾集会が開かれたほどだった。有島に目をかけていた内村鑑三は激怒した。新渡戸は国際連盟事務局次長としてジュネーブにいたが、愛弟子の死に対する感想は伝えられていない。有島が再評価されたのは戦後のS20年以降で、その文学作品、人道主義、その思想の実践、北海道草創期の文化に大きな足跡を残したこと等、改めて見直されて今日に至る。</p>

1924 (T13)	生徒自治会設立。中等部第1回卒業生を送り出す。私立北海中学への編入が可能。
1926 (T15)	高等科を廃止し、中等部4年制となる。
1928 (S3)	創立35周年記念式を行う。中等部第3回卒業生により図書部を設立される。

1929
(S4)

東小学校の旧校舎の古材の払い下げを受けるなどして増築—新校舎落成。
校章制定（雪を型どる六角晶の中に6つの★、中央に〈遠友〉の文字）
10坪又は20坪の各教室、32坪の運動場の他に作法室、図書室、医務室、職員の寄宿室が出来、電灯も完備した。世界的な大不況の最中、当時の北海道は冷害凶作で不況のどん底にあった。そんな中で、76歳の会計理事三島常盤が日夜、募金に努力したこと、教師たちが節約に節約を重ねて資金を蓄えたこと、工事関係者が犠牲的に仕事に当たってくれた事等が、新校舎に結びついたのであった。

女子生徒の回想

1929
(S4)

新校舎への移転も、ここは夜学校だから夜なんです。それで夜学校に明かりがついていませんけど、周辺は真っ暗。学校の隣がお寺ですし、片方は土手です。学校だけ煌々…あまり煌々としていなかったんですけどね。でも、その当時は本当に煌々と見えました。そこへあちからもこっちからも、もう時間遅しと駆けてくる人。自転車で「おばんです、おばんです」と言って。もう本当に兄弟のように、家族のような状態で学び合ったものです。

引っ越しのとき、男生徒と先生の多くは、運搬と大掃除。女子(7,8人)には先生が「夜食を作ってくれよ。ぼた餅でもお稲荷さんでもいい…120人分」。それでざあっと計算して、ある先生には、もち米4升とうるち米4升、別の先生にはさし餡4貫目、別の先生には箸、砂糖、乾物、タクアンをお願いしました。

お米(係)の先生は、お店(米屋)から、素人が今から8升を処置できないから止めておけと言われて戻ってきたので、(そこで私は)「米屋におはぎを作れって言わないでしょう。先生は買ってきてくれればいいんです」と。先生はまた吹っ飛んで買ってきました。…大きなおはぎが250個…120人が車座になってみんなで食べるという…(私たちは)あーと言ったきり、アンコや煤のついてる顔で、床にペターンと座りこんじゃった…しかしその顔は何ともいえない輝きを放っているんです。みんなもう喜んじゃって、食べることなんかそっこのけ…」



新校舎
(原田蔵)

<p>1931 (S6) 70 歳</p>	<p>5月16日新渡戸最後の来道。各地で講演して大歓迎を受ける。</p> <p><u>講演「母校に帰って」—北海道大学にて5月18日の午前・午後—</u></p> <p>「…人生の目的は、地位や、名誉や、富を得ることではなく、心豊かな人間として完成することにある…」</p> <p><u>聴講学生の回想</u>（新渡戸稲造研究家 『新渡戸稲造の手紙』 著者 鳥居清治）</p> <p>生涯のうち、この2時間の講演ほど感動したことは、かつてなかった。殊に（人生の目的は…）という教訓であった。その後の半生が、それに値したどうかは分からない。しかし、この教えが胸中に燃えさかり、浮世の闇路を照らすかがり火になったのは間違いない。</p> <p><u>遠友夜学校にて講演「学問余里（より）実行」—5月18日夜—</u></p> <p>私は此の学校の校長と云う名があるにも拘わらず平生ご無沙汰してすみません。然しご無沙汰していても学校の事を忘れたことはありません。…此の札幌にこんな学校があって、昼は働き夕方になると此処へ学問をしに来る若い人が大勢ある…私にとり何とも云われぬ教訓であります。</p> <p>…万事私に代わって代表をして下さった方は何と偉い人ではありませんか。近頃は専ら半澤先生が色々な事をして下さる。教育は物を覚えることよりも立派な人だとされる方が後々の成功も確かだ。現に私の家で沢山人を使っているが、…ご飯炊きのばあやがいる。広島に田舎に育ち百姓の家に早く嫁ぎ、朝となく夕となく働き、本を読む暇が無かったので字も書けず、家に来て初めて字を覚えた。新聞に手習いして3年で手紙が書けるようになった。然しこのばあさんは台所に居ても暗闇の太陽の様でニコニコして何をしても有り難い有り難いと云う。どんな物を食べても有り難い有り難いと云っている。…もし書生が文句でも云うと「こんな物でも食べられぬ人がいる。有り難い」というから、書生達も癪に障ることがあってもこのばあさんの前では黙っている。若い女も「あのばあやの為に家がどれ程うまくいっているかわからない」と云う。之は真の人間になっているのである。学問とはつまり此のような人になることを目的とする。</p> <p><u>女子生徒の回想</u></p> <p>新渡戸先生がおいでになった当日は、提灯をつけまして、夜、駅の前に並びました。先生はわざわざ輪の中に入っていられまして、「夜おそいのにご苦労さんだったね。ありがとう。明日か明後日行くからね」と…もう感動して、うれしくてね。…そして先生が（講演を終えて）学校からお帰りになるとき、廊下に全校生徒を並ばせて「手を出しなさい」と云われました。その上で、各生徒の手を丹念にご覧になって、ひと言ひと言、皆さんに声をかけてくださったんです。私は手がきたないんですよ。それで恥ずかしいと思いながらお待ちしておりましたら、私の手をお取りになって、「どうしたの、このケガは？」と質問なさいました。私の手には大きな傷がございます。…「実は以前、工場で女子工員をしていましたとき、仕事につけました」…仕事の内容を申し上げたところ、先生はじーっとお聞きになりながら、両手に私の手を包み込み、「この手は日本一美しい手だよ」と仰ってくださいました。</p> <p>…無知な私は偉い人って変なところに感動するもんだなあと思いました。なんでこんな手がきれいなんだろう。…私は美しいなどとは親からも人からも一度として云われたことがなかったんです。それでそのとき…カーッと感動しちゃいまして、ポロポロ、ポロポロと泣いちゃいました。</p>
<p>1932 (S7)</p>	<p>生徒が鉄道割引対象となる。翌年、校舎に電話が開通する。</p>
<p>1933 (S8) 72 歳</p>	<p>昭和の初頭は、世界的な規模の経済低迷の大恐慌で政治は不安定だった（この頃から日本の軍国主義が激化してゆくことになる）。そんな時代背景のもと、国際協力機関である太平洋問題調査会が発足。新渡戸は日本側理事長を務める。S6年、満州に駐留する日本の関東軍の特務機関が、柳条溝の満州鉄道を中国軍のせいにして爆破する満州事変が勃発した。</p>

	<p>そんな軍部勢力の行動の真相を、新渡戸は知らなかったのではないかと推察される。時代は新渡戸の意図する国際主義、自由主義や民主主義とは逆方向に向かって進んでいた。</p> <p>この頃から、新渡戸は健康を害しはじめていた。S7年1月、松山講演の際の記者会見で、新聞には公表しない約束で、新渡戸は「時局に対する意見」を求められた。「日本を滅ぼすのは共産党か軍閥である。どちらが恐いかと問われたら今では軍閥と答えねばなるまい」と発言。翌日の新聞はこの新渡戸談話を掲載し、「軍人にあらずんば人にあらず」と考える在郷軍人会や右翼、国粹主義者の反感・反撃は凄まじく、新渡戸の身边には危険が迫り、家にも護衛がついた。</p> <p>S7年3月、日本は国際連盟より満州事変に対する非難を受け、S8年3月、国際連盟を脱退した。</p> <p>こうして満州事変以来、アメリカの対日感情は悪化しつづけていた。排日移民問題で二度とアメリカの土は踏むまいと決意していたが、このままでは戦争が起こりかねないと、S7年4月、日米間の国交緩和の為に渡米。新渡戸は排日派の人々、フーバー大統領、ラジオ出演、有力者との意見交換などを精力的にこなした。</p> <p>M8年に約1年間のアメリカ遊説を終えて帰国する。</p>
1933 (S8) 72歳	<p>S8年8月、カナダのバンフで開かれた「第5回太平洋会議」に日本代表として参加。</p> <p>難局に立つ日本の国際的理解を得ようと、精魂を尽くして重大な任務にあたるが、9月13日発病、ビクトリアのジュビリー病院に入院。病名は出血性膵臓炎だった。</p> <p>10月15日夜8時35分、カナダジュビリー病院の一室で永眠する。 (日本時間16日午後1時35分)</p> <p>11月18日、東京の青山斎場で葬儀が行われ、札幌遠友夜学校では遥拝式を行う。</p>
1934 (S9)	<p>新渡戸萬里子、第2代校長に就任。新渡戸会、光遠会、発足。</p>
1938 (S13)	<p>新渡戸萬里子、静養先の軽井沢で心臓病により79歳で永眠。</p> <p>半澤洵、第3代校長に就任。設立当初とは社会情勢が変わり、教育機関が普及して普通教育制度が完備され、夜学校は次第に生徒も少なくなっていく。半澤校長の模索「教育の対象を変えること、専任者を設置して他の社会事業を経営し、夜学校は塾式の昔に帰り従来通り経営すること」等々</p> <p>女子生徒の回想</p> <p>私は北大で給仕として働き、公立実業夜学を卒業し、S13年に英語を習いたいと思い(17歳)遠友中等部に入った。校長は半澤先生、副校長は高倉新一郎先生で、祝日や開校記念日には必ず新渡戸先生のことを話された。学生の先生は…腰に手ぬぐい1本ぶら下げ、大きな声を張り上げて若さ溢るる授業であった。</p> <p>…入学以来、教務室の当番は女子で、いつも壁に新渡戸先生と萬里子夫人の写真がほほ笑んでいた。1月の凍てつく夜、珍しく初等部から7.8歳ぐらいの色白のかわいい女の子が2人来た。ぞうきんバケツに入れたその手を見て私はびっくり、ひび、あか切れで真っ赤にはれ上がった細い小さな手、「毎晩来たいんだけど忙しいからなかなか出してもらえないの」と言う。…この札幌に今でも義務教育の小学校にも通えず、夜学にさえも来られず親元を離れて働く少女、私は強い衝撃で忘れることができなかった。</p>
1943 (S18)	<p>創立50周年記念式典を行う。</p> <p>男子生徒の回想 私が遠友夜学校に入学したのは、昭和17年4月、戦時中のことです。夜学校で学ぶ生徒の数が少なくなり(軍需工場の夜勤などで欠席)、席をずらしてストーブを囲みながら授業が行われました。…中等部2年のときは、7,8人ぐらいで(小さい教室に移り)教室も狭くなりました。6月18日に札幌遠友夜学校開校50周年のお祝いをしました。</p>

<p>1943 (S18)</p>	<p>・『遠友』（札幌遠友夜学校報 第 32 号—S18 年 9 月下旬発行）「創立 50 周年記念式」記事 来賓の祝辞が終わった時、<u>校友生の 1 人が突然起上って「私にもひと言話させて下さい。」</u> と登壇した。</p> <p>私は波乱多い一生を持ちました。然し、この間私をして墮落させなかったものは、実に 2 年間遠友に学んだ事によってであります。…20 歳前後の若い先生達の清らかな純情と激しい熱情こそは、強く強く私たちを動かしました。此処で私は初めて一箇の人格として認められ、非常に有難く思いました。日曜ごとに先生は、生徒を連れて郊外へ遠足に出かけました。その時、先生は自分の包みの中から饅頭やお菓子を取り出して、手づから私達に分けて下さった。…豊平川の月見の時、美しい月の光に照らされながら、先生から一々指して貰って、星の話をして戴いた事は今でも忘れません。</p> <p>これらの事が、感激に震える口調で語られた。今日の日の感激は最高潮に達した。校友生の中に涙にぬれている者も見受けられた。…最後に一同心をこめて校歌を歌った。有島先生の清らかな精神から生まれた校歌が今夜程感激深く歌われたことはなかった。</p>
<p>1944 (S19)</p>	<p>義務教育の浸透と戦争の激化により、勤労奉仕、学徒動員等で、先生の寮からも出征兵士の送られる声が響いてくるようになる。だが、先生方は新渡戸の精神を考え、生徒に軍事教練を課さなかった。学舎は逓信局に強制貸与を命じられた。そして遂に閉校に追い込まれた。5 千人以上が門をくぐり、700 人以上の学生等が教え、卒業生徒は 1,116 名を数えた。</p> <p><u>夜学校最後の庶務日誌</u></p> <p>夜学校の精神は 50 年の長きにわたって、些かも変形されずに今日に至っている。夜学校 50 年の流れを、ここで食い止めたものは何かと考えている。然し理想は変わらないとはいへ、周りを囲む現実は今や年々歳々変わっていった。</p>
<p>1954 (S29)</p>	<p>4 月 29 日第 1 回札幌遠友夜学校総会を開催して決議する。会長半澤洵、副会長高倉新一郎。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遠友夜学校の土地を財団より札幌市に寄付して、次の件を実施する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 跡地の一部に児童遊園地をつくり地元住民の福祉に寄与する。 2. 札幌市第一勤労青少年ホーム建設の一室に「記念室」を設け、新渡戸博士と遠友夜学校の資料を保存・展示公開する。 2. 札幌遠友夜学校の校史を編纂発刊する。 3. 有島武郎文学碑を札幌市大通西 9 丁目公園内に建立する。 4. 新渡戸稲造博士顕彰碑を札幌市第一勤労青少年ホームの前庭に建立する。
<p>1962 (S37)</p>	<p>9 月 22 日、有島武郎文学碑の建立。大通公園西 9 丁目。</p> <p>碑文は有島の小説「小さき者へ」（T7 年『新潮』に発表）の一節。T6 年妻安子が亡くなり、遺された 3 人の子どもに向けて書かれた。武者小路実篤の揮毫。</p> <p>『遠友夜学校』（さっぽろ文庫 18）（昭和 52 年札幌市教育委員会発行）</p> <p><u>木原直彦編集長のあとがき</u></p> <p>忘れられない記憶がある。昭和 37 年 9 月に有島武郎文学碑の除幕式が大通公園の 9 丁目で行われ、実弟の有島生馬も参列したが、遠友夜学校の関係者が多かったのに驚いた。札幌に住んで間もなくであり、この学校についての知識が薄かったこともあった。もう一つ、42 年 10 月に開いた有島武郎文学展に生馬の愛嬢で武郎に可愛がられた有島暁子さんが出席されたが、そのとき小寺アキさんが親身の世話をしておられた。恩師武郎への敬愛の念にほかならないが、「苦労した人ほど感謝の気持ちが強い」との小寺さんの談話は僕の胸を打つ。</p> <p>遠友夜学校は、その 50 年の歴史のなかで数千人が校門をくぐり、一千人を越える卒業生を送り出している。教師も数百人におよぶが、新渡戸稲造の偉大な人格に端を発したこの学校の、子弟一体となった“人脈”を強く思うのだ。実に多くの人材を輩出し、そして他に影響をおよぼし、それがいかに札幌の良質の精神を形づくったことか。この特殊であった学校が、普遍となって札幌市民のなかにいまも脈打っていることを知るのである。</p> <p>10 月 6 日、新渡戸児童遊園地の開園。札幌市に土地を寄付。（南 4 条東 4 丁目）。</p>

1964 (S39)	6月11日、跡地に建てた札幌市勤労青少年ホーム内に「遠友夜学校」新渡戸記念室開室。
1973 (S48)	4月、遠友市民大学の開校—学長 高倉新一郎。
1979 (S54)	11月23日、新渡戸稲造博士顕彰碑の建立（跡地-札幌市中央区南4東4-新渡戸稲造記念公園）大理石の台座に「学問より実行」のプレートがはめこまれ、ブロンズ像の若者が新渡戸稲造夫妻の肖像をささげ持っているデザイン。札幌出身の彫刻家、山内壯夫作。
1984 (S59)	新渡戸稲造、五千円札紙幣の肖像となる。2007年（H19）まで。
1990 (H2)	4月 札幌遠友塾自主夜間中学開講（札幌市民会館等を経て、現在は札幌市立向陵中学校教室）
1994 (H6)	<p>6月21日、札幌遠友夜学校創立百年記念講演会を開催。（北大学術交流会館）</p> <p>加藤武子さんの講演（新渡戸の孫—母親は新渡戸の養女）</p> <p>…祖父は慈愛のあふれた人間でございました…明治24年頃と思いますが、ある日、祖父が用事で札幌の奥地へ参りました折り、人身売買をする男の人が、泣いている少女を引き連れて行くのにたまたま出会いました。そのとき祖父は、即座にその場でその子を助けて札幌の家に連れ帰ったそうです。長く保護をして、ちゃんとしたところに就職できるように面倒をみたということを聞いております。…そんな祖父でしたから、かねてから無償で、事情があって学校へ行かれない方のために学校をつくりたいと思っておりました。…祖母メリー（萬里子）の元にお金を送った方は、孤児の人で（引き取って家族の一員になっていた）、何かと家事を手伝ってくれまして、その合間にクエーカー（キリスト教の一派の教徒-内なる光）のボネットという、西部劇でかぶっているような、ツバがあってひだがあって、顎のところで結ぶボネットを、手仕事で黙々と毎日縫ったそうでございます。その賃金というのでしょうか、ひとつ縫うといくらというように貰いまして、それをコツコツと、ちっとも使わずに貯めておりました。亡くなりますときに…遠い日本という国に行ってしまったメリーさんにあげてくださいと遺言して、残したものでございます。…それが届いて遠友夜学校が開かれたわけですが…そういうことは単なる偶然ではなく、天の配剤であったとしか思われません。</p>
1996 (H8)	10月 新渡戸稲造博士顕彰碑建立（北海道大学構内）
2005 (H17)	4月 平成遠友夜学校開講（北海道大学遠友学舎）
2011 (H23)	レッツ中央（勤労青少年ホーム）閉館。「遠友夜学校記念室」史料は札幌市資料館に移設。
2014 (H26)	7月 札幌市資料館の「遠友夜学校記念室」を閉鎖し、札幌市は史料を北大へ寄贈。
2012 (H24)	12月1日、札幌遠友夜学校跡地近くで、新渡戸稲造生誕150年を記念して「21世紀に札幌遠友夜学校理念の実現を」の講演会が開催された。
2013 (H25)	<p>3月18日「任意団体 新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」設立 代表理事 秋山孝二</p> <p>「会の趣旨は、新渡戸博士の国際性に裏付けられた高邁な思想と教養、1894（M27）年に、博士ご夫妻によって設立された「札幌遠友夜学校」の教育理念を、多くの方々と共に幅広く顕彰し、この跡地の放つメッセージを国内外に発信し、札幌市民として、一条の光を灯す責務を感じたからです」</p> <p>※「札幌遠友夜学校記念館」建設資金の募金活動開始</p> <p>目指す活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校記念館」の跡地一隅への建設 2) 赤ちゃんからお年寄りまでの地域住民の学びと交流の場の提供 3) 札幌遠友夜学校記念室と資料・図書保存・管理、利用へのサービス 4) 「市民講座」といった継続的な教育プログラムの企画と実施 5) 記念館内に電子資料室を設け、新渡戸稲造と札幌遠友夜学校に関する史料を集約し、国境を越えた情報サービスの提供など <p>6月22日「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」設立記念フォーラム</p> <p>記念講演：「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校」藤田正一氏（北大名誉教授）</p> <p>パネルディスカッション：阿部敏夫氏、梅野きん子氏、工藤一廣氏、中川厚雄氏</p>

2014 (H26)	2月14日	一般社団法人の認可を受ける。
	6月14日	札幌遠友夜学校創立120周年記念フォーラム 記念講演：「記念するには所をえらぶ」 佐藤全弘氏（大阪市立大名名誉教授・『新渡戸稲造全集』23巻別巻2巻編集）
	2月27日	札幌市議会で記念館用地として公園用地の一部貸与承認。（陳情第50号採択）。
	5月	コンセプト設計公募結果発表・チカホ展示。
	12月	夜学校跡地は、札幌市により「新渡戸稲造記念公園」として造成。デザイン、銘板・メモリアルウォールの文面作成に「考える会」が協力。
2015 (H27)	3月	遠友夜学校創立120年記念論文・作文コンクール結果発表。
	6月	「一般社団法人 新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」遠友夜学校創立120年記念誌発行。
	6月27日	第3回新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会記念フォーラム 作文・論文コンクール授賞式 記念講演：「新渡戸稲造—世界に示した紳士道」 藤井 茂氏（一般財団法人新渡戸基金常務理事・事務局長、現理事長）
2016 (H28)	6月18日	第4回新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会記念フォーラム 記念講演：「新渡戸稲造・内村鑑三とその弟子達」 大山綱夫氏（学校法人北星学園理事長）
2017 (H29)	5月	記念館建設用地掲示板除幕式。
	6月3日	第5回新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会記念フォーラム（道民カレッジ連携講座） 記念講演：「夜間中学校と学びの権利～教育の豊かさを求めて～」 工藤慶一氏（札幌遠友塾元代表・北海道に夜間中学をつくる会共同代表）
	11月25日	第1回稲造サミット・札幌 「友あり、遠方より来たる。」開催。 13:00-17:00 札幌プリンスホテル国際館パミール3F 基調講演：「新渡戸稲造とは何か—現代に生きるそのメッセージ」 寺島実郎氏（遠友みらい塾塾長・一般財団法人日本総合研究所会長） 参加団体の活動報告（14団体の発表） 参加者260名
2018 (H30)	6月23日	第6回新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会記念フォーラム（道民カレッジ連携講座） 記念講演：「新渡戸稲造の業績が現代に示唆するもの」 三島徳三氏（北海道大学名誉教授）
	9月22日	第2回稲造サミット・花巻開催
	札幌遠友夜学校記念館建設支援「連続講座」 7人の講師の新渡戸と遠友魂 7月10日/8月7日/9月11日/10月6日/11月13日/12月11日//1月15日	
2020	3月	札幌遠友夜学校記念館竣工予定

◆ご意見、ご感想、お問合せ先：「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」Eメールinfo@nitobe-enyu.org

参考図書（発行年代順）

- 『太平洋の橋』新渡戸稲造伝 石上玄一郎著 講談社 1968年（S43）
- 『宮部金吾宛書簡』（新渡戸稲造全集第3巻米国建国史要）（書簡第9信） 教文館 1970年（S45）
- 『新渡戸稲造の手紙』鳥居清治著（訳注）北大図書刊行会 1976年（S51）
- 『遠友夜学校』さっぽろ文庫18 札幌市教育委員会編 北海道新聞社 1981年（S56）
- 『新渡戸稲造』さっぽろ文庫34 “ ” 1985年（S60）
- 「民族と国民性」『日本国民』（『新渡戸稲造全集』第17巻第4章） 教文館 1985年（S60）
- 『思い出の遠友夜学校』札幌遠友夜学校創立百年記念事業会編 北海道新聞社 1995年（H7）
- 『新渡戸稲造 物語と史蹟をたずねて』井口朝生著 成美堂出版 1996年（H8）
- 『日本のオールターナティブ』藤田正一著 銀の鈴社 2013年（H25）
- 『札幌農学校』日本近代精神の源流 蝦名賢造著「札幌農学校」復刻刊行会 復刻版第3刷 2014年（H26）
- 『札幌遠友夜学校』藤田正一著（一社）新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会 2015年（H27）
- 『基督教学』第52号「札幌遠友夜学校の誕生と発展—それを支えたものは何か」 三上節子著 北海道基督教会 2017年（H29）